

地質－3 祇園山石灰岩

五ヶ瀬町の祇園山石灰岩は、古生代シルル紀の化石が豊富に産出することで有名です。産出する化石は、三葉虫類、クサリサンゴ・ハチノスサンゴ・日石サンゴなどの床板サンゴ類、四放サンゴ類、ウミユリ類、腕足類などです。これらの化石は、高知県横倉山や東北地方の北上山地などから産出するものと並んで、日本でもっとも古い大型化石になります。祇園山石灰岩は一部に凝灰岩を伴うことなどから、低緯度地域の火山島付近のサンゴ礁が、長い年月をかけてプレートによって現在の位置に移動したのではないかと考えられています。祇園山は、心ない一部の化石マニアが無断で山林を荒らしたことが問題となり、現在は原則採集禁止となっています。

